

好間工業団地を活用した災害時緊急一時避難施設の確保について

1 事業概要

市では、災害時に市民等が一時的に避難する方法として、民間施設内の駐車場等を「災害時緊急一時避難施設」として活用する取組みを進めていますが、今般、令和元年東日本台風で大きく被災した平窪・好間・赤井地区と隣接する好間工業団地内の事業者16社から駐車場等の提供について承諾を得たことから、これらの事業者と「災害時緊急一時避難施設等としての使用に関する協定」を締結することになりましたので、お知らせします。

2 協定締結事業者16社について

No.	事業者名	所在地
1	株式会社赤井工業所	好間工業団地 1-33
2	アテラ株式会社	好間工業団地 34-1
3	株式会社アラオカ	好間工業団地 17-1
4	株式会社大森工業野田 (いわき事業所)	好間工業団地 13-1
5	株式会社小島製作所	好間工業団地 16-12
6	有限会社キャニオンワークス	好間工業団地 1-1
7	株式会社三景 (いわき工場)	好間工業団地 1-41
8	株式会社新生テクノ	好間工業団地 16-16
9	東洋炭素株式会社 いわき工場	好間工業団地 1-31
10	日新化熱工業株式会社 (いわき工場)	好間工業団地 3-8
11	株式会社花見台自動車	好間工業団地 23-1
12	公益財団法人福島県労働保健センター いわき健診プラザ	好間工業団地 27-7
13	富士テレコム株式会社 いわき支店	好間工業団地 1-52
14	ミムラ工業株式会社 (福島いわき工場)	好間工業団地 1-48
15	株式会社横森製作所 いわき工場	好間工業団地 26-1
16	喜美運送株式会社 (好間物流センター)	好間工業団地 3-16

16社合計約550台分の駐車スペースを災害時に活用させていただくこととなりました。

市が所有する約500台分の駐車スペースと併せて、最大約1,050台分の避難スペースを確保できます。

3 実施の背景

令和元年東日本台風では、市全体で約 6,700 世帯、約 9,800 人が洪水被害を受け、中でも平窪・好間・赤井地区等においては、住宅に加えて多くの自動車も被災し、移動手段を失ったことで、その後の生活再建に支障を来しました。

また、「いわき市台風第 19 号における災害対応検証委員会」の最終報告書においても、「一部の避難所への避難者の集中」や「避難所内の駐車場不足」等が課題とされたところです。

これらの地区には、避難に適した高台等が少ない状況であることを鑑み、自動車を使用した地域外への避難を推奨するため、好間工業団地内を「災害時緊急一時避難施設」として活用するものです。

4 活用方法

災害により避難が必要となった場合には、はじめに市が所有する駐車スペースを開放し、その利用状況を踏まえ、協定締結事業者に「災害時緊急一時避難施設」としての活用を依頼することとなります。

(事務担当)

危機管理課危機対策係

電話 22-7551